

守門岳山行報告

【山行日】2015年 7月 5(日)曇り時々晴れ

【集 合】 岩舟支所 P AM 4:00

【費 用】 マイカー2台 : 4,900円

【メンバー】 CL:鈴木、 岩淵、大西、香川、
梶内、島田、関、谷口、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P4:00＝二口登山口
P6:15/6:25＝二分キャンプ場 P630/6:55～保久礼
小屋 7:40～キビタキ小屋 8:30～大岳 9:50/10:10～
大岳分岐 10:40～青雲岳 11:05/11:15～守門岳
11:30/11:45～青雲岳 11:55/12:30～大岳分岐
13:00～滝見台 14:00～護人清水 14:50～二口登山口 P15:20/15:30＝岩舟支所 P18:30



か役場に登山道の状況を確認しておいた。何処か登れる山はと探したら、新潟県魚沼市以北は曇りで雨マーク無し。前日の夜、「雨天の為行き先を守門岳に変更します。」とメールを送ると皆さん参加の返事。

二口登山口手前の林道に、「通行禁止」の看板があるが自己責任で通行できる。

二口登山口には水洗トイレがあり、トイレを済ませて二分キャンプ場へ向かう。二分キャンプ場は、舗装された駐車場と、草原のテン場のみ。

皆が準備している間に、車を一台下山口の二口登山口に回しておく。ストレッチをして出発する。保久礼小屋までの登山道は、あまり利用して無いようで荒れている。草や木をまたいだり、くぐったりしながら登ると林道に出る。保久礼小屋には寄らず、右側の階段状の登山道を進む。ここからは、緑豊かなブナの尾根を登るようになる。空は明るくなり、雨の心配は無さそうだが蒸してとても暑い。木段の登山道を延々と登り、キビタキ小屋分岐に着く。

小屋には寄らず直進し、汗がしたたり落ちる頃第二展望台に着く。ここからは西側が開け、角田山や弥彦山や下界の街並みが望める。木段の登山道を頑張って登ると、次第に樹高が低くなり傾斜もゆるくなる。不動平を過ぎると、周囲は大きく開けて大岳山頂まで見渡せるようになる。緩やかに登って行くと、本日のお目当て「ひめさゆり」の花が出迎えてくれ大歓声が上がる。大岳山頂でグレープフ





フルーツや菓子を食べてのんびり過ごす。晴れていれば佐渡島まで見渡せるが、今日は日本海は見えるが佐渡島は見えなかった。山頂から南に少し行くと、北から東側が開けこれから登る守門岳をはじめ、連なる山稜の威容が一望のもとに見え歓声が上がる。ここからの尾根は、ヒメサユリやニッコウキスゲ、コバイケイソウ等々の花が咲き乱れる雲上の樂園。登りを頑張ったので、時間を気にせずのんびりと花を楽しみながら歩く。特にヒメサユリやニッコウキスゲの花は、色が濃くと

ても可憐に咲いていた。最低鞍部の網張からは、灌木の樹林の中を登ようになる。ゴゼンタチバナやコイワカガミ、ツマトリソウを見ながら登り、二口コース分岐を右に分け登りきると青雲岳に着く。青雲岳山頂は、高層湿原になっており木道を歩くようになる。山頂に広い休憩所があり、ここにザックをデポして守門岳に向かう。「途中の湿原に、トキ草が咲いています。」と教えてもらい見ると、50輪くらい纏まって咲いていて、皆驚いていた。ひと登りで守門岳山頂に着く。山頂には石祠が祀られ、方向指示盤が設置されている。飯豊連峰から西吾妻山、浅草岳、越後駒ヶ岳、等々360度の眺望が得られるが、うっすらと霞んで見えた。眺望を楽しみ記念写真を撮って青雲岳まで戻る。青雲岳山頂の休憩所で昼食にする。今日の



メニューはキノコうどんと特製厚焼き玉子、キュウリやダイコンの漬物と豪華。K 氏の奥さんお手製のゼリーにきな粉をまぶしたデザートは、冷たくてとても美味しかった。山頂の鐘の前で、記念写真を撮り下山する。二口コース分岐を左に、樹林の急な登山道を降りて行く。赤土が雪解け水や雨で濡れていて、とても滑りやすく慎重に下る。あっちこっちで「ウワ～」とか「オォ～」とか滑った声が聞こえる。滝見台までコースタイムより30分余分にかかって辿り着く。ウワバミの滝を眺

めながら、冷たいキーウイフルーツで喉を潤し一息つく。中間点を過ぎると、傾斜はいくらか緩くなり歩き易くなる。谷地平からは再びブナ林の中の急降下となり、ロープを頼りに降りる箇所もある。ブナ林をゆるやかに下るようになると、最後の休憩場所の護人清水に着く。ここまで下れば一安心、冷たい清水で喉を潤し一休み。この先も急な下りは続くが、今までの下りからすればさほど問

題ない。林道に出て、右に下って行くとトイレがある二口登山口に着く。

雨で山行を諦めていたが、思いがけず晴天に恵まれ、ヒメサユリやニッコウキスゲ等沢山の花々に出会え、充実したトレーニング山行が出来た。

